

ようこそ日光へ

両陛下十六年ぶりご来訪

二十二日、新緑の霧降高原を ご満喫

天皇、皇后両陛下は、五月二十一日午後零時三十五分に国鉄日光駅にご到着、昭和四十一年七月以来十六年ぶりに日光においでになりました。

矢板市で開かれる全国植樹祭ご出席のため、足早く日光をご来訪されたもので、二十一日は、

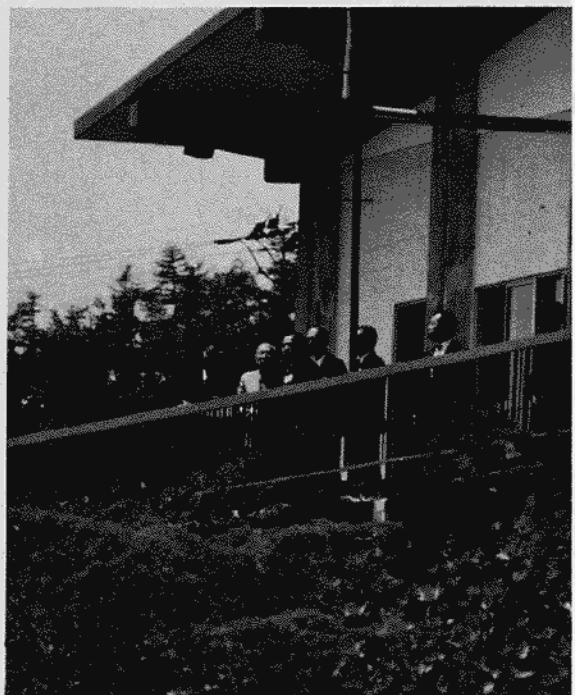
市民や観光客の歓迎の中をご到着された後、旧田母沢御用邸や二社一寺などをご覧になりました。翌二十二日は、陛下お一人で霧降高原を散策され、植物にご感心の深い陛下はカラマツの新緑と咲き誇るツツジ、山草などを熱心にご覧になり、新緑の高原を満喫されました。

最初のご訪問先、旧田母沢御用邸に定刻どおり午後二時四十二分にご到着。加藤副社長の案内で邸内、邸園をご覧になりました。

今回のご訪問は、昭和十七年以来に四十年ぶりのことであって「若いころに来て長い間こなかったので、いろいろ思い出されてなつかしい」と感想をもらわれました。

まず、二荒山神社では喜田川司の案内で国の重要文化財となっている本殿などをご覧になりました。輪王寺では、柴田門跡の案内で三仏堂の千手観音菩薩などをご覧になり、次いで、東照宮では額

霧降高原の植物を観察される陛下



市長の案内で霧降の展望を楽しまれる陛下

賀宮司の説明で陽明門をはじめ本殿、拜殿などをご視察しました。この後、陛下お一人で東照宮裏山にある仏岩付近の植生群を散策されました。陛下は、黒靴から茶色の運動靴に履き替えられ、久保

田元植物園主任の案内で興味深く植物を観察されました。そして、「仏岩の自然を初めて見せてもらった。くわしく植草の説明を聞いて参考になった。自然が残されていてうれしい」と話されました。

高原からの展望市長がご説明

翌五月二十二日には、陛下お一人で日光霧降高原をご視察されました。

景色にご満足の様子でした。

このとき、陛下は市長に「霧降高原は何人くらい利用しているのか」「日光には観光客が何人くらいくるのか。いつの季節が多いのか」「鶏頂山の左にある山は何という山か」などご質問されました。また、日光杉並木の説明を受けると、

双眼鏡で興味深くご覧になるなど、新緑の映える霧降高原をご満喫されました。

この後、霧降高原ハウスに立ち寄り、展望台にお立ちになって関東平野が一望できるすばらしい

展望台に立ち寄り、関東平野が一望できるすばらしい